

Service News サービス・ニュース

自動貸出機をぜひご利用ください！

カウンターに並ぶことなく、ご自身で貸出手続きができる非常に便利な機械です。お昼や夕方カウンターが混んでいる時などにおすすです。

《利用方法》

- 1 貸出する本を台の上に置き、画面の「スタート」ボタンに触れてください。
- 2 貸出券を右の差込口に差込んでください。
- 3 貸出券の向きに注意
4 バーコードが奥になるように差込みます。
- 3 貸出冊数を確認し、画面に表示される「貸出」ボタンに触れてください。
- 4 画面の指示に従い、レシートの有無を選んで貸出処理は完了です。

重ねて置いて大丈夫です！

◆2Fホールに3台、1F受付横に1台設置しています。

ご利用に関してご不明な点がございましたら、お気軽にカウンターまでお声掛けください。

10 Exhibit Information 月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「古今東西 地図さんぽ」 NEW!
日本の地図、世界の地図をテーマにご紹介。単なる道案内だけではなく、幅広い知識を与えてくれる地図の奥深さ、面白さを再確認してみてください。
「林忠彦写真展 日本作家109人の顔」関連展示(三角台) NEW!

2F ホール 一日比谷カレッジ関連展示 NEW!
生誕100周年「ムーミンをつくった芸術家 トーベ・ヤンソン」特集
国際アンデルセン賞作家賞受賞 上橋菜穂子パネル展

2F オレンジゾーン 「働き方の可能性 ～雇用と労働の今、これから～」
少子高齢化、女性の社会進出など社会の変化とともに働き方の多様化が進む日本の雇用。働き方の現状と今後の可能性についてさまざまな視点から紹介します。

3F グリーンゾーン 「考えるケンチク」(～10月中旬)
建築物が生まれた背景にはどのような思想や哲学があるのでしょうか。建築家の思想や、近代から現代にかけての建築史を読み解く本を中心に紹介しています。

3F ホール 「2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向かって」 NEW!

津浪 地震雑感

寺田寅彦随筆選集

中央公論新社 2011年

物理学の第一人者であった寺田寅彦氏が経験し、目の当たりにした災害について書いた一種のルポルタージュ。

わたしの一冊

「地震雑感／津浪と人間」 寺田寅彦随筆選集

寺田寅彦 著
千葉俊二・細川光洋 編

当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめする人 村越沙織 図書フロア

ZONE PICK UP! 2F ブルーゾーン

【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

「早すぎた芸術家」

「早すぎるとは何か？」
それは、「先見的」であるが故に、現代における絶対的評価に繋がるのでしょうか。「生前は無名」、「発表当時物議をかもした」、「批判された」など、様々な角度から「早すぎた芸術家」について考えます。

▼展示で取り上げている芸術家の一部をご紹介しますと・・・



ヨハン・セバスティアン・バッハ 【音楽家】 (1685-1750)
ポール・ゴーギャン 【画家】 (1848-1903)
宮沢賢治 【詩人・作家】 (1896-1933)

報告します! 毎月開講中

日比谷データベース講座 VOL.2 「Westlaw Japanを使った法情報の調べ方」

開催日:8月19日(火)、20日(水) 講師:上田 茂斉 (ウエストロー・ジャパン株式会社)

8月の講座では、「Westlaw Japan」を使って法情報の検索方法を学びました。データベースの操作方法だけでなく、法律のしくみや判例が公開されるまでの流れの解説などもあり、参加者のみなさんは熱心にならずきながらメモを取ったり、質問をしたりしていました。

日比谷データベース講座 当館で利用できるオンラインデータベースを気軽に知っていただくための、どなたでも参加できる講座です。

VOICE 参加者の声

「初心者にとっても理解しやすく、法律に親しみを持つきっかけになった。」
「講師の具体例を交えた説明がわかりやすかった。」
「法律と省令の関係等、データベースの使い方以外にも勉強になった。」

日比谷データベース講座VOL.4 「聞蔵Ⅱビジュアルを使った朝日新聞の記事の探し方」
10月21日(火)12:15-13:15 / 18:00-19:00
※講座概要は各回とも同じです

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



織田作之助

特別展 TADACHIKO HAYASHI

作家が「文士」と呼ばれていた時代、彼らの肖像を描いた写真家があった。

日本の作家109人の顔

2014年 9月26日(金) ↓ 11月25日(火)
※休館日:10月20日、11月17日

敗戦後の焼け跡・闇市の時代を駆け抜けた太宰治、坂口安吾など「無頼派」の作家たちの写真を含めて、林忠彦の「文士」シリーズは、今見てもワクワクするような躍動感にあふれている。今回はモデルとなった作家の代表作の初版本などの資料を含めて、時代の熱が直接伝わる展示になるはずだ。ぜひ、足を運んでいただきたい。

飯沢耕太郎 (写真評論家)

展示されている初版本の一部

深沢七郎『楢山節考』 (中央公論社/昭和32年発行) 壺井栄『雑居家族』 (筑摩書房/昭和31年発行)

対談 「林忠彦の見た、昭和という時代」
林忠彦氏の仕事について語り合う公開対談。
講師:岡井耀毅(写真ジャーナリスト)、飯沢耕太郎(写真評論家)
日時:10月18日(土)14時～15時30分(受付13時30分～)

鼎談 「林忠彦の写真にみる文士たちの生き様」
林忠彦、作家の坂口安吾、榎一雄のご子息たちが語る公開鼎談。
講師:坂口綱男(写真家)、榎太郎(エッセイスト)、林義勝(写真家)
日時:11月4日(火)19時～20時30分(受付18時30分～)

上記 場所:日比谷図書文化館 地下1階コンベンションホール(大ホール) 参加費:各1000円(千代田区民の方500円 ※住所が確認できるものをお持ちください) いずれも 定員:200名(申込順、定員になり次第締切) 申込み:電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて

calendar 開館時間:平日10時～22時 土曜10時～19時 日祝10時～17時 休館日

2014年 10月							2014年 11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

access

都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」 A7出口 徒歩3分
●千代田線 ●日比谷線 「日比谷駅」A14出口 徒歩5分
●丸ノ内線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩5分
JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。

10・11月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

10/4 (土) 秋の文学講演会 名著さんぽ倶楽部(全2回) 第2回「名著さんぽ倶楽部 -神保町辺りをステッキ片手に」

講師：坂崎 重盛(文筆家)

日比谷や神保町界限をテーマに、名作の舞台や文豪の足跡をたどる、まるで散歩をしているような文学講演会。小説の舞台、作家の散歩道や通った店など、本をめぐる東京街歩きに関する著書多数の講師がお話します。第2回目の今回は、神保町周辺をテーマにステッキなど散歩に欠かせないお洒落アイテムの話などをご案内。講師秘蔵のコレクションである明治時代の錦絵や、石版画などもご覧いただく予定です。



■日時：10月4日(土)14:00~15:30(13:30より受付)
■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

10/7 (火) 日比谷オペラ塾・特別講演会 「茂木健一郎、ワーグナーを語る。～感動と癒しのメカニズム～」

講師：茂木 健一郎(脳科学者)

様々な視点からオペラについて語る日比谷オペラ塾。この度は特別講演会として、ドイツ・オペラの巨匠リヒャルト・ワーグナーを愛してやまない脳科学者の茂木健一郎氏をお招きします。オペラ愛好家、そして科学者としての見地から、その楽曲がもたらす感動と癒しのメカニズムについてお話いただきます。(主催：フェニーチェ劇場友の会)



■日時：10月7日(火)19:00~20:30(18:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1500円

10/8 (水) 第27回江戸歴史講座 御庭番創設の日記念 「徳川將軍直属の隠密、御庭番 -その成立と探索の実際-」

講師：深井雅海(徳川林政史研究所副所長)

御庭番は、江戸幕府の隠密としてその名称が広く知られていますが、職務のためか、「正式名称は御休憩御庭之者である」「將軍の他、老中・目付などの密命もつけた」など、様々な説が唱えられています。本講座では、徳川將軍家や「御庭番家筋」に伝来した確かな史料に基づいて、御庭番の実像を明らかにします。



【お庭番秘聞・暗殺者より】

■日時：10月8日(水)19:00~20:30(18:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示 「近代日本のベンチャー精神 内田嘉吉と明治大正期の実業家たち」



BARON YEIICHI SHIBUZAWA. (American Monthly Review of Reviews September 1902) / The Review of Reviews Company / 1902年)

明治・大正期に内田嘉吉が接した産業界の人々 -「日本資本主義の父」と称され、今年世界遺産に登録された富岡製糸場の生みの親といえる渋沢栄一、浅野セメントをはじめとする浅野財閥を築いた浅野総一郎、渋沢栄一に請われて東京ガスに入り社長まで務めた工学博士・高松豊吉、現在も続く多くの有名企業の源流となった「幻の総合商社」鈴木商店の大番頭・金子直吉など - に関する本を展示し、これからのビジネスにおいて参考になりそうなエピソードや記事とともに紹介します。

10/8 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス2014 【初級・体験版】「イノベティブ・マインドセット -自分の中のクリエイティビティを知る①」

講師：富田 欣和 (慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科講師) 麻生 陽平 (慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師) 渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科研究員)

イノベーションの創出に大切なクリエイティビティ。本講座は実践で磨かれてきた慶應SDMのメソッドにより、参加者ひとりひとりが潜在的に持っているクリエイティビティに気づきこれを発揮することで、イノベティブなマインドセットを体感するワークショップです。(主催：イノベティブ・デザインLLC)



■日時：10月8日(水)19:00~21:00(18:30より受付)
■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：30名 ■参加費：3000円

10/16 (木)他 グローバルビジネスパーソンのための株式市場塾 「投資家の‘変身’に企業はどう対応すべきか？」

講師：手島 直樹(経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)

上場企業を取り巻く環境が大きく変化しています。第1回目は、アクティビストや物言う投資家たちの主張に隠された企業価値創造のポイントを探ります。第2回目は外国人投資家が増え、企業には企業価値創造への意識改革が求められる中で、企業はどのように行動すべきなのかを考えます。



■日時：10月16日(木) 第1回「投資家はどう変わるのか？」 10月30日(木) 第2回「企業経営の在り方」 いずれも19:00~20:30(18:30より受付)
■会場：4階スタジオプラス(小ホール)
■定員：40名 ■参加費：3000円(2回分)

10/22 (水)他 HIBIYAイノベーション・キャンパス2014 【実践版】イノベティブ思考のためのワークショップデザイン -思考の枠を知る・拡げる(全2回)

講師：富田 欣和 (慶應義塾大学大学院SDM研究科特任講師、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科講師) 麻生 陽平 (慶應義塾大学大学院SDM研究科非常勤講師) 渡辺 今日子 (慶應義塾大学大学院SDM研究科研究員)

参加者ひとりひとりがイノベティブなマインドセットを獲得し、「多視点からの可視化」「構造化」を実践することで「思考の枠を知る・拡げる」を体感します。また、このプロセスの仕組を理解し、参加者自身で再現するワークショップのデザインも体験します。(主催：イノベティブ・デザインLLC)



■日時：10月22日(水)、10月29日(水) 19:00~ 21:00(18:30より受付)
■会場：4階セミナールームB(会議室)
■定員：24名 ■参加費：5000円(全2回)

10/23 (木) もっと活用したい人のためのビブリオバトル 実践講座 一中級編 - & 公開質問会

講師：亀山綾乃(ビブリオバトル普及委員会 関東地区代表) 瀬部貴行(ビブリオバトル普及委員会 関東地区副代表) 市川紀子(ビブリオバトル普及委員会 神奈川県担当)

ビジネスや教育現場、各種コミュニティなど、さまざまなケースでビブリオバトルを活用している講師陣による「企画の立て方」から「運営方法」までの豊富な事例紹介と、ビブリオバトルワークショップを体験していただきます。*当日は体験用として「おすすめの本」を1冊お持ちください。

■日時：10月23日(木)19:00~ 21:00(18:30より受付) ■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名 ■対象：18歳以上 ■参加費：500円

10/24 (金) 生誕100周年 ムーミンをつくった芸術家 トーベ・ヤンソンの知られざる素顔

講師：トゥーラ・カルヤライネン (ヘルシンキ現代美術館KIASMA元館長、キュレーター、美術史家、作家)

2014年は「ムーミン」の作者トーベ・ヤンソンの生誕100周年です。フィンランド・ヘルシンキでのヤンソンの回顧展を企画したフィンランド人キュレーターであるトゥーラ・カルヤライネン氏をお招きし、画家としての功績、芸術家たちとの親交を中心にヤンソンの新たな魅力を語っていただきます。(逐次通訳有)



■日時：10月24日(金)19:00~21:00(18:30より受付) ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：500円

10/28 (火) 『源氏物語』を味わいつくす(全3回) 第1回「宇治十帖」の愉しみ

講師：林 望(作家・国文学者)

「宇治十帖」は『源氏物語』の本編とは、相当に雰囲気異なります。その成り立ち、作者等については諸説ありますが、本編に見られないような描写や対話、人情話のような面白みにあふれています。毎年大人気の林望先生の『源氏物語』講座、今年は「宇治十帖」に焦点を絞り、その面白さを様々な角度から検証します。(主催：上廣倫理財団)



■日時：10月28日(火)18:30~20:10(18:00より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)*千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。
<第2・3回予告>
▶11月27日(木)18:30~20:30 「浮舟」という女の造形をめぐって ゲスト：千住 博(日本画家)
▶12月17日(水)18:30~20:30 「朗読劇」としての卓抜さを味わう ゲスト：鶴木 絵里(オペラ歌手)

日比谷カレッジ 古文書塾 てらこや 10月期 本講座開講 10月6日(月)~

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾てらこや」。多種多様な15講座を開講します。

- 古文書の魅力に出会う【入門コース】(全2講座 4クラス) 筆字のくずし字を初歩から学べます。
- 古文書から見えてくる多様な世界に感動する【本科コース】(全5講座) くずし字の史料を読み解いて歴史の真実に迫ります。
- 歴史の躍動を感じる【特別講座】(全8講座) 江戸時代の多様な姿・史料を用いて、歴史の具体像を楽しみます。

■期間：10月6日(月)~随時開講
■会場：4階セミナールーム(会議室) ■定員：各24名(申込順)
■参加費：
【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回講座・6ヶ月分、別途資料代1,000円) 【特別講座】13,650円(全5回講座・3ヵ月分、別途資料代500円)
※翻字者育成講座には別途テキスト ハーバード大学美術館蔵「源氏物語 蜻蛉」(税込1,944円 2014年 新泉社)が必要です。(当館でのご用意も承ります。)
※てらこやに関する資料をご希望の方には無料でご送付いたします。
■お問合せ：電話(03-3502-3340)

11/1 (土) 早すぎた芸術家 宮沢賢治

講師：ロジャー・バルバース(作家)

作家であり、詩人であり、農学者であり、そして宗教的思想家でもあった宮沢賢治。「すべての人の福祉向上」という時代のはるか先をいくビジョンを持ち、21世紀の先見者であった宮沢賢治について、長年宮沢賢治の作品を愛読、研究してきたロジャー・バルバース氏が新たな視点から語ります。



■日時：11月1日(土)14:00~15:30(13:30より受付)
■会場：4階スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円

11/3 (月・祝) 開館3周年記念講演会「人間の不思議」

講師：村松友視(作家)

「人間という存在を“不思議”のアンクルで覗けば、奇妙奇天烈な生き物であることが炙り出されてくる。その“不思議”のホコ先を自分自身、周辺の人々、世の中に存在する人々、老人の神秘とユーモアの溶け合った境地へと向けて、面白みを探ってみよう。」(村松友視)一村松氏ならではの人間探求、その不可思議な世界をご堪能ください。(特別協力：第16回図書館総合展)



■日時：11月3日(月)14:00~15:30(13:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民無料)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/9 (日) 国際アンデルセン賞受賞記念 上橋菜穂子氏講演会 -辿ってきた道、そして、いま-

講師：上橋 菜穂子(作家・文化人類学者)

『精霊の守り人』『獣の奏者』などで、児童書のノーベル賞と称される「国際アンデルセン賞」の作家賞を受賞した上橋菜穂子氏をお迎えし、文化人類学の研究を続けながら、作家になるまでに辿ってきた道程について、独自の世界観や思い、異世界の物語をどのように紡いできたか、お話しいたします。



■日時：11月9日(日)14:00~16:00(13:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：180名
■参加費：1000円、高校生以下無料(中学生は当日学生証をお持ちください)

	講座名	曜日・時間	初回日
入門コース (6ヶ月) 120分 全10回	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火) 10:10~ (木) 13:30~ (金) 18:30~	10/14 10/9 10/17
	いろはの次 -大江戸大変-	(月) 18:30~	10/6
	黒船ショック -黒船来航事件を古文書から読み解く-	(火) 18:30~	10/14
本科コース (6ヶ月) 120分 全10回	武家文書を読む -老中にもみる幕府官僚事情-	(水) 13:30~	10/15
	文人画と碑文 -掛軸を読む-	(水) 18:30~	10/15
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30~	10/10
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30~	10/18
	大久保利通の手紙を読む2	(火) 19:00~	10/21
特別講座 (3ヶ月) 90分 全5回	浮世絵を読む	(水) 10:10~	10/22
	女性の風俗を読む	(水) 19:00~	10/8
	くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木) 13:30~	10/16
	江戸を楽しむ -続-江戸の寺社あれこれ-	(木) 18:30~	10/9
	江戸のサイエンス -元禄期の科学文化をたずねて-	(金) 13:30~	10/17
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30~	10/18
	【翻字者育成講座】ハーバード大学蔵「源氏物語 蜻蛉」を読む	(木) 18:30~	10/16